

セレネ
ティムの婚約者で伯爵令嬢
廃嫡の件を知り伯爵家を出奔
ティムと共に冒険者になる

ティム
元子爵家の長男
祝福の儀で生活魔法しか適性がない
ことが判明し、追放されてしまった

受付で言ってた
案内人ってアンタ
のこと？

ああ俺の名は
ジャック、斥候を
やってる

おいおい
これでも凄腕で
通ってるんだぜ？

フーン…
あまり有能には
見えないけれど

せ、セレネ！
せっかく引き受けて
くれたんだから！

まあいいわ
これでティムの適性を
開花させるアイテムを
採りに行けるわね

受付では
オススメって
聞いたけれど…
とんだ外れ
みたいね…

さっきから
胸に視線が
集中してるの
バレバレなん
だけども…

はあ…
他にもっとマシ
なのはいなかった
のからしら…

また淫紋が
広がってるな
ティムにシて
もらってない
のか？

っ…
言われなくても
やってもらって
るわよ…!!

ただ…
ティムじゃ上手く解呪
できないから
こうしてあんたに
頼んでるんですよ！

ああ、悪い悪い笑
確かにティムは
こういうのは向いて
なさそうだもんな笑

わかってる
わかってる笑

そっちこそ
「治療行為」で俺に
本気になるなよ笑

はあ?!
なるわけない
でしょっ!!

嫉妬の淫紋
定期的に発情する呪いが
発生し他者からの性的接触で
絶頂すると解呪出来る。

クク…
俺が仕掛けた罠
だとも知らずに
バカな女だぜ…

ティムの奴は
順調に解呪に
失敗してるな
この呪いの
本当の効果も
知ったらどんな
顔するだろうな笑

…っ!!
わかってると
思うけどこれは
治療行為だから
変な気を起こさ
ないでよね

あ…
ジャック
遅かったわね…

よおセレネ
タイムのヤツは？

…タイムなら
稀少素材の採取
依頼に行かせたでしょ

さつき出て行った
ばかりだから
2、3日は戻ら
ないはずよ…

ああ…
そうだった
そうだった

可哀そうになあ笑
大好きな婚約者に
追い出されちゃった
んだった笑

だ…だって
従わないとおまんこ
してくれない
じゃない…♡

へへ
そんなときはティムに
してもらえば
いいじゃないか

それにしても
すげえ恰好だな
誰も元伯爵令嬢だつて
気が付かねえよ笑

あ、あなたが
言ったんでしょ…♡
俺が楽しめる恰好で
出迎えるって…♡

あーそうだった
そうだった笑
よく似合ってるぜ笑
まるで娼婦だ笑

…おら…
いつもみたいに
跪けよ…♡

あ…♡はい…♡
すぐ…♡

…っ♡
で…っ出来ないって
知ってるクセに…♡

ジャックに解呪を頼むようになって数か月…淫紋は完全に誤った形で定着してしまいもう私の身体は彼に逆らえないよう徹底的に躦けられていた

今日もコイツが いいのか？

あ…ああ…♡
それっ…
それがいい♡

完全にハマったな笑
別にちんこじゃなくても
解呪できるんだぜ？

や…っいやだ…っ
指だと何度も
何度も寸止めして
遊ぶでしょ…っ♡

おいおいそれは
お前が処女だけは
許してくれって
わがまま言った
ときにお仕置き
したただけだろ笑

あん時結局お前が
我慢できなくなつて
処女膜差し出して
きたんだよな笑

や、やめろ…♡
嘘を言うなあ…♡

ウズ

おいおい
忘れたのか？
コイツの前で
土下座して
誓っただろ♡

最高だったな
貴族の宣誓ってやつ？
あれ、王族に忠誠を
示すようなやつだろ？
まさか俺の笑
それもちんこに
するとか笑

…っ?!
あ…っ♡
ああ…♡

やめて…♡
言わないで…♡

これ…っ♡
ずるい…っ♡
この匂いを嗅ぐと
身体が一切言うことを
聞かなくなる…っ♡

血筋も素行も最悪♡
貴族令嬢の私ですら
性処理か金を稼ぐ道具
としか見てない…っ♡
こんな最低な男なのに…っ

淫紋が脳に直接命令を
流し込んでくる…っ♡
この男に服従しろっ♡
この男の子を産めっ♡

あ、おい
まだ待たせ
がつつくなよ

つたく…
治療行為に本気に
なるわけないって
言い切ってた女が
ちんぽ前にして
犬みたいに媚びてるなんて
とんだ笑い種だよなあ

ティムのやつに
見せてやりてえよ笑

ティムといやあ
あいつもいい加減邪魔に
なってきたな

お前がさっさと
追放しねえからだぞ？

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

じき

じき

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

へっ

うおっ
待って言うって
んだろっ！

タイムの名前
だした途端急に
やがって

…さてはお前…
まだあんなやつ
の
こと好きなのか？

…こりゃ一回
教育する必要が
あるな…

タイムって男が
どんだけ役立たずの
クズか教え込んでやる

ぐほ

ぐほ

ぐほ

ぐほ

ぶっ…

ぶっ…

ぶっ…

ぶっ…

ぶっ…

ぢゅ

ぶっ…

ぶっ…

ぶっ…

ぶっ…

ぶっ…

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

ん...っ

あいつはっ
ろくな適性もっ
持ってねえっ

戦闘でも役立たずっ

体力もねえから
荷物持ちにも
ならねえっ

ド
ク
ユ

ド
ク
ユ

あ

採取だつてゴミ
ばっか拾ってくるっ
完全な足手まとい
なんだよっ!

金も持ってなけりゃ
アソコも
小せえとききたっ!

ク
ユ

アイツが
どんだけ男として
終わってんのか
わかんたるっ!

あ

そんな男をっ
いつまでもっ
好きでいるんじゃっ
ねえよっ!

おらっ射精すぞ!
アイツの薄い精子と
比べながら飲めっ!

あ

ガ

ガ

はー…はー…
ちよつと待って
ジャック…

さっきの…
家に戻れって…
どういふこと？

ああ？
そのまんまだよ
伯爵家つていやあ
相当資産があるんだろ？

お前と結婚すりゃ
一生遊んで暮らせる
こんな上手い話
なかなかねーぞ笑

できっこないわ…
私出奔してるのよ？
今更帰れるわけ
ないでしょ…！！

ああ、それなら
問題ねえ…
タイムに攫われた
ことにするんだよ笑

フキ
フキ

フキ

はあ…?!

タイムに攫われた
お前を俺が助けて
伯爵家まで護衛する

そんな俺に惚れ込んだ
ご令嬢は新たな
婚約者として
俺を迎え入れるって
わけだ、完璧だろ？

むっ無理に
決まってるわ！
いくら何でも結婚は
無理よ…!!

ソクッ

ソクッ

もちろん伯爵令嬢の
元婚約者を攫った
不届きもののクビを
持っていくのさ笑

お前一人娘って
言ってるの？
大切な跡取り娘を
助けた手柄って事で
親父に頼みこめよ

フキッ♡

フキッ♡

フキッ♡

…あ……っ
…ん……っ

…そ、それでも
難しいわ…

血筋の確かな人間で
なければ婚約は認めて
もらえないのよ…っ

ち……っ！
だめじゃねえか！
これだから
貴族ってやつはよお

ビク
ビク

そ、それに廃嫡された
とはいえタイムだって
元貴族なのよ…っ
勝手に殺したら
まずいわ…！

そうだ！
み、身柄と引き換えに
私の専属護衛
としてなら
雇えるはずだから
それで…！

…あ……っ

あ……っ

あ……っ

ビク
ビク

ヒ
ヒ

ア
ア

いいか?!
他の男と結婚なんて
絶対にさねえっ!

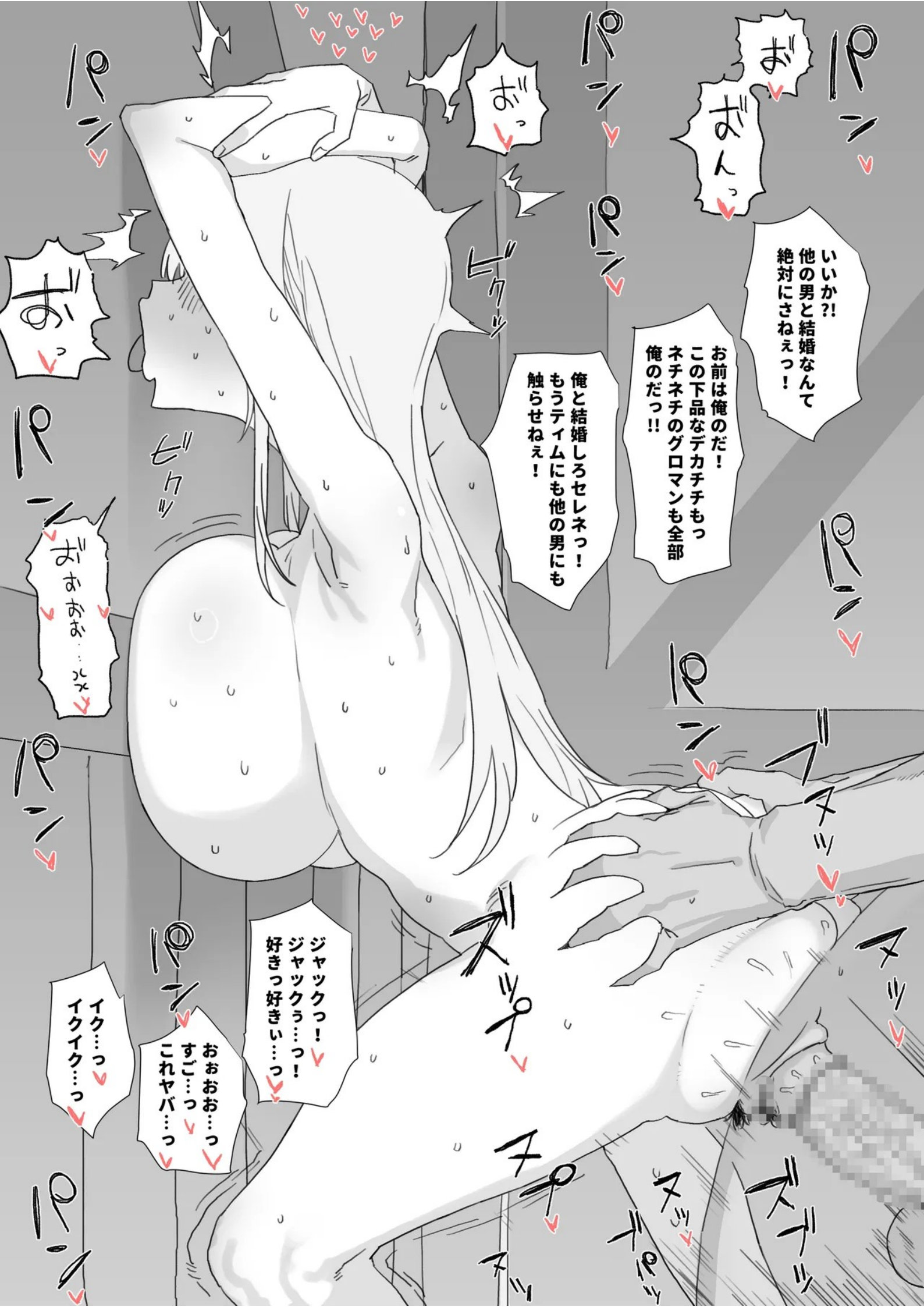
お前は俺のだ!
この下品なデカチチもっ
ネチネチのグロマンも全部
俺のだっ!!

俺と結婚しろせれネっ!
もうタイムにも他の男にも
触らせねえ!

ジャックッ!
ジャックウ...っ!
好きっ好きい...っ

おおおお...っ
すご...っ
これヤバ...っ

イク...っ
イクイク...っ





はあー...はあー...
わかったかセレネエ...
お前は俺の嫁になるんだ...
俺のガキ孕むんだよお...

奴隷紋…？
知り合いに頼めば
用意できるけどよ
そんなもん何に
使うんだ？

フハ…ッ

ん…ふう…
もちろんティムによ
アレにお金を稼がせて
私たちに貢がせるのよ

そうすれば結婚も
できるし、家に
戻らずお金も手に
入るわ

ハ…ッ

ハ…ッ

だがよお
あいつろくに
金なんて稼げ
ねえだろ

だから覚醒
させるのよ
あなたを雇ったの
だってもともと
ティムを覚醒させる
ためだったのよ



お金の稼ぐ
手段には困らないわよ
ティムの家の人間は
最後まで気が付かな
かったみたいけど…

その覚醒とか
したところで
役に立つのか？

戦闘には役に
立たないけど…
希少採取と
高度錬金術を
使えるように
なるわ

お金を稼ぐ
手段には困らないわよ
ティムの家の人間は
最後まで気が付かな
かったみたいけど…

ハ…ッ

へえ…
そりゃいいな

でしょ？
それを知ってたから
彼を見捨てないで
あげたんだもの…

た…が…

ただセレネ…
この期に及んで
ティムのこと考えて
ないよな？

フ…ッ

ニ…ッ

キ…ッ

キ…ッ

な？俺の言った
とおりだろ？
女はセックスで
男を選ぶんだよ

……ホント
サイテーね……っ
そういうところも
好きよ……っ

もう……
当たり前でしょ
……？

手マンは痛いし
クンニも下手くそ
いいところが
一つもないわっ

……あそこだって
小さいしね……っ

フフ……
あなたのせいで
私の価値観……っ
おまんこ基準に
なってるわ……っ

フー……
そろそろ
射精すぞ……



